

出産や育児は経営にとっても スキルアップ、次の段階へ進める。

有限会社 COCO-LO

■〒376-0011 群馬県桐生市相生町2丁目261-3

■TEL.0277-55-5422

■http://coco-lo.net/

●代表取締役 雅楽川 陽子さん



Q 雅楽川さんは起業されていらっしやいます。今の会社になるまでの経緯など教えていただければ。

A (雅楽川代表) 学生のときから独立を考えていました。作業療法士はアメリカに行き資格をとれば独立できるので、当時はアメリカに行くことも考えていました。

起業から少しずつ事業拡大し、2つ目のデイサービスのオープンを控えた一週間前に私の妊娠がわかりました。それで体調も思わしくなく、代わりにスタッフが頑張ってくれたんです。そうしたら、かえって売り上げが上がった。私だけでなく、スタッフが一時的にいなくても運営できる状況をもっと作った方がいいな、いなくてもがんばれるよ、っていう仕組みにしないといけないと思う、そのあたりから、育児中でも活躍できる仕組みを改めて考え直しました。出産や育児は経営にとっても次の段階に進めるスキルアップになりますよね。スタッフにも言ってるんですよ。出産して育児を経験すれば、それはもう人材育成の練習をしているわけだから、プラスだよ、と。

Q 制度について教えてください。従業員の方は制度をどのように知るのですか？

A (鹿木さん) 毎年4月にキャリアアップ研修というのがあって、その中で雅楽川代表が経営計画書を発表し

てくれています。それを見て知ります。結構、きめ細かくて。それで、私が一番よく見るのは、ワーク・ライフ・バランスに関する方針ですが、ユニークな休暇制度が毎年増えているんです。(雅楽川代表 「自分を愛するDay」とか。

(鹿木さん) 「授業 参観休暇」とか、「旅行休暇」とか。従業員にはアンケート調査があるんですが、その中でこんな休暇があればいいな、って書かれたものがそのまま反映されたりするんです(笑)。アンケート調査は、年1回の面談に向けて実施されるんですよ。また、毎年1回、従業員と社長が1対1で話し合う社長面談というのがあるので、子どもが小学校に上がるとき正社員になりたいのだけど、時間が8時半から5時半だと厳しいから、8時から5時の枠がほしい、って言ったら、それを就業規則に盛り込んでくれたり。

(雅楽川代表) 働きたいのに働けないとか、介護も育児も仕事もしたいのいうまく仕事のバランスがとれないとか。キャリアを積みながら出産・子育て、っていうモデルがないからそうなっちゃうわけで、でもそれは矛盾だと思っただけです。だから会社を起こして、いろんな仕組みを作っていて、先に事例を作っただけで誰かが真似して、上手くいくのであればそれでよし、って思っただけですよ。

Q 学生にエールを。

A 当社みたいな会社はやっぱまだ本当にレア・ケースで、そうじゃないところに勤めたときに、自分を見失わないようにすることが大事ですね。自分のしたいこと、好きなこと、得意なことはアピールしていった方がいいと思いますよ。

学生の声

雅楽川さんの、女性が働きやすい職場の実現への強い思いが反映された制度が素晴らしいと思いました。また、COCO-LOさんでは従業員はもちろん利用者の方々もとてもいきいきと楽しそうにされているのが印象的でした。

学生時代から起業を考えていた雅楽川さんは、理想の企業を実現されています。その道のりは決して平坦ではなかったようですが、やっていけないことはないと思われたいと希望と勇気をもらいました。



(左端) 総務主任 鹿木和代さん
(左から二番目) 雅楽川代表